

水質調査モニタリング

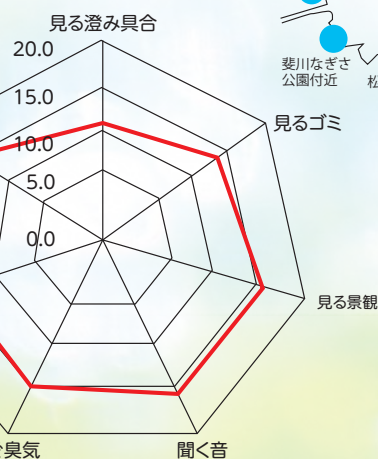
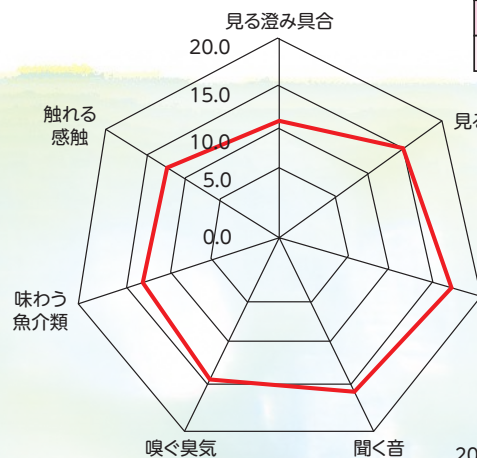
県は、穴道湖7地点・中海7地点で、五感モニター（地域住民）による水質調査を行っています。
湖沼モニター調査結果平均点(R1.10~R2.9) ☆薬品(パックテスト)水温計を使用

五 感	観察項目	選択肢	判断基準の例	点数(穴道湖)	点数(中海)
	湖水の 澄み具合	澄んでいる	(20点)	11.6 点	12.2 点
		少しにごっている	(10点)		
		にごっている	(0点)		
	ゴミ	ほとんどない	(20点)	15.2 点	14.1 点
		少し見当たる	(10点)		
		たくさんある	(0点)		
	景観	美しい・心がなごむ・風情がある	(10点)	8.4 点	8.0 点
		特に感じることはない	(5点)		
		殺風景・見通しが悪い	(0点)		
	音	こちよく感じる音・静かで落ち着く	(10点)	7.8 点	7.9 点
		特に気にならない音	(5点)		
		うるさく感じる音	(0点)		
	臭気	こちよい香り・臭いはない	(20点)	14.4 点	15.2 点
		特に気にならない臭い	(10点)		
		くさく感じる	(0点)		
	魚介類	食べてみたい	(10点)	6.2 点	7.1 点
		どちらでもない	(5点)		
		食べてみたいと思わない	(0点)		
	湖水の 感触	触ってみたい	(10点)	5.9 点	7.4 点
		触ることに少し抵抗がある	(5点)		
		触りたくない	(0点)		

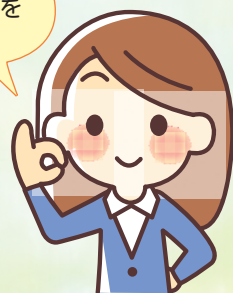
穴道湖総合 Bランク

合計点数	ランク	評価内容	合 計	合 計
80点以上	A	良好で親しみやすい環境	69.5 点	71.9 点
50~79点	B	まずまず良好な環境		
49点以下	C	親しみにくい環境		

五感モニター 調査結果



図の穴道湖7地点・
中海7地点で調査を
行いました。



乃木地区流出水対策協議会

会 報

10周年記念特別号

第10号 令和3年2月発行

設立経過

- 島根県が平成22年3月忌部川・山居川流域を流出水対策地区として指定。(第5期穴道湖に係る湖沼水質保全計画策定時)

流出水対策地区



- 県は計画を継続実践するため、第7期穴道湖に係る湖沼水質保全計画を策定し、引き続き忌部川・山居川流域を流出水対策地区として指定。

流出水対策協
設立 10周年
さらに活動を
継続へ



- 両河川における流出水の汚濁負荷を低減することを目的として地区住民が設立し、5期・6期を経過現在に至る。(平成22年8月31日設立)

設立当初 さあ出発だ



愛する郷土の美しく豊かな穴道湖をみんなで守り、より良い環境を形成し次世代を担う子どもたちへ引き継ぐことを目指して努力しましょう。

宍道湖の水質保全計画(県) 今後も総合的に推進

長期ビジョン みんなで守り、はぐくむ生命、豊かできれいな宍道湖

●人々に恵みや潤いをもたらす豊かな汽水域生態系

- ・シジミを始め、宍道湖七珍と呼ばれる豊かな魚介類が生息する
- ・ヨシが茂り、ヨシ原の中で魚介類の命が育まれる湖岸域
- ・風がそよぎ、野鳥がさえずるヨシ帯
- ・ガン・カモ類などの渡り鳥が飛来し羽を休める
- ・宍道湖を活かした産業、宍道湖に関わる全ての人々に恵みをもたらす



●人々の暮らしに安らぎを与える美しい水辺空間

- ・早朝、朝もやに浮かぶしじみ船
- ・訪れる人に感動と安らぎを与える宍道湖の夕日
- ・太古の昔より人々の暮らしに溶け込み、四季折々の姿を見せる姿(宍道湖八景)
- ・魚釣りや水遊びなど人々が水辺に集い、水とふれあう

●人々の間で語り、受け継いでいく湖

- ・いにしえから未来まで、人々が宍道湖と関わり、共存していく
- ・親から子へ、子から孫へ、宍道湖の自然・歴史を学び伝えていく



宍道湖

宍道湖・中海の生きものたち

中海

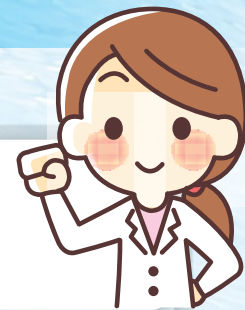


地域の宝を未来につなごう

中海・宍道湖ラムサール条約登録15周年イベント開催

条約の基本理念

『保全再生』『賢明な利用』『交流学习』
これまでの取り組みを振り返り、歴史や課題を共有し、未来へ繋いでいきます。



- 平成17年11月8日宍道湖・中海がラムサール条約湿地に登録されてから本年度で15周年となります。

これを記念し令和2年10月31日米子市に於いて鳥取県・島根県連携によるイベントが行われました。

先ず、鳥取県知事、島根県知事、そして大山圏域各市長が、それぞれ環境保全・水質保全について熱意あふれる挨拶をされました。

続いて元気に決意表明した子供たちと手と手をつなぎあい笑顔を交わし、また会場全員がこぶしを突き上げて、地域の宝を未来に繋ぐことを誓い合いました。



松徳学院中学生が水質保全に貢献

ユネスコスクールへの加盟を目指す松徳学院では、ユネスコ憲章に示された理念と使命に基づき、その一環としてかねてより天神川・中海・宍道湖の現地で学習したり、現地の人々と交流を図るなど積極的な活動を展開中です。

山居川に於いても、すでに数回水質調査を实践され、水質保全について研究が行われています。

12月7日は、先生方6名に引率された同校中学2年生26名が6班に分かれて、川のごみをタモで掬ったり沿道の草や落ち葉を袋に収容し一か所に集めたり、対策協議会の委員10名と仲良く楽しく取り組みました。



山居川の自然木を伐採(県)

